

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.48

日時	2013年9月30日
行脚先	大畑城
住所	大分県中津市大字加来（豊前国）
行事名	

## 特徴

寿永3年(1184年)頃、源義経が平氏追討のために、緒方三郎惟栄に命じて築かせた五城のうちの1つであったと云われています。  
緒方氏の一族・加来次郎惟興が城主となり、以後代々加来氏が入ったそうです。  
加来氏は豊後の大友氏には属さず、周防の大内氏に属していましたが、弘治2～3年(1556～1557年)大友の軍勢一万二千が宇佐・下毛の諸城を攻撃した際、加来壱岐守成恒は戦わずに降伏しました。  
その後、大友氏が島津氏に圧され、勢いを失っていくのを見せると豊後の諸城は一斉に反旗を翻しましたが、大畑城の加来安芸守統直は、大友氏方の拠点としてたびたび反勢力を押し返しました。  
大友氏滅亡後、中津に入った黒田官兵衛は周辺諸城の攻略を行い、天正15年(1587年)に大畑城を囲みました。  
三日三晩の激しい攻防の末、大畑城は落城となり、城主統直は落ち延びましたがその後討死となりました。  
子・重基は細川氏が中津に入った際に帰農し、その後継が現在にまで続いています。

## 黒田官兵衛との関わり

黒田氏に叛旗した加来安芸守統直の居城です。  
黒田・吉川両軍に攻められ天正15年(1587年)12月に落城しました。  
統直は大友氏を頼り敗走するも、途中秣氏の兵によって討たれました。  
大畑城落城を最後に豊前一揆は鎮圧されました。

## 記録

